ARTIST PROFILE

Afro Urbanity ～アフロ・アーバニティ～

創作 エレクトリック アフロキューバン ジャズ ユニット

“アフロアーバニティ” のサウンドのもっとも特徴的なポイントは、キューバのルーツミュージックに根ざした伝承音楽が題材にあること。
電子楽器を駆使し、多ジャンルと独自の掛け合わせを施した緻密で実験志向の高いアレンジ、そしてスペイン語とヨルバ語を操る特徴的で個性的なヴォーカルワークにより、まるでインストゥルメンタルかのように仕上がったオリジナル曲の数々は、日本人ならではの繊細さが際立っている。
TVCM や舞台音楽、ジングルなどを多数手がけるサウンドクリエーター・阿部道子と、様々なジャンルのシンガーソングライターとしてライブやレコーディングなどで活動する傍ら、日本では数少ないアフロキューバ音楽を歌うボーカリストとしても注目される奈奈カンタリーナを中心に、2017年に結成。 二人を支えるメンバーは、日本のジャズ～フュージョン、ラテン・キューバ音楽シーンで活躍する大御所から新進気鋭の若手まで各世代の強者ばかり。

客席がミュージシャンを囲む形に配置され、演奏者の後ろから観覧するという 360 度全方向視聴型ライブにこだわり、強力なグルーブと即興で繰り広げられる色彩豊かなライブを展開。キューバ・ラテン音楽好きみならず、ジャズ、フュージョン、アフロミュージックファンなどから好評を得ている。
様々な実験的なライブを経て 2019 年 9 月、満を持して 1st Album『Afro Urbanity』をリリース。
現在は日本だけに留まらず、フランス・カナダに拠点を持つ Beige Records より海外でのリリースも同時進行中。
コロナ禍中には、アフロキューバンダンサー YASUJI 、法竹（尺八）奏者・遠藤健二 氏、ナイジェリアにルーツを持つ世界的ダンサー兼シンガーである ジェフリー ダニエル氏（シャラマー）とのコラボ作品を制作、シングル楽曲として 3 曲を連続配信、無観客スタジオライブや無観客シアターライブの収録～映像配信を行う。
又、ラテン系フィットネスプログラム「BAILA BAILA」とのライブコラボレーション、アフロキューバ太鼓ユニットやホーンセクション、ストリングスカルテットとのライブコラボレーションの他、2022 年 10 月 22 日、二枚目となるアルバム『Desde Tokio』を発表。
2023 年には、キューバ国立民族舞踊団のトップダンサーであったバロディア・ロドリゲス氏を招き、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京の助成をうけ、プログラミングを取り入れた現代サウンドとの融合を試みたイベント ROOTS OF AU シリーズ第二弾を開催した他、様々なイベントを実施。
2024 年 1・2 月には JAL 国際線の機内エンターテイメント JAZZ チャンネルに “DESDE TOKIO” が起用されるなど、新たな活動へと可能性を広げている。

リリース情報　Releace Infromation

[Afro Urbanity] NSCD-1209
2019/9/22 CD リリース

[Daré La Rumba] 2020/9/1 配信
[OBATALA] 2020/9/21 配信
[Prologue] 2020/11/11 配信

[Desde Tokio] NSCD-1215
2022/10/22 配信リリース
[Desde Tokio special edition] NSLP-2301
2023/06/01 Vinyl リリース

【日本公式サイト】www.nsrecordsjapan.com/afro-urbanity
【海外公式サイト】https://afrourbanity.bandzoogle.com/home

MEMBER'S

阿部道子 Michiko Abe

Keyboard/Comporse
Arrangement/Programming

TV,CM, 舞台 , 様々な場所で制作に関わるサウンドクリエーター。近年では、アフロキューバンに傾倒し、一線のプレーヤーを迎え大編成から、エレクトリックな小編成まで多岐にわたるスタイルでライブ、制作活動をしている。

奈奈カンタリーナ Nana Cantarina

Vocal/Lyric/Comporse
Chorus Arrangement

日本国内では数少ないアフロキューバ音楽を歌う、ラテン系個性派シンガーソングライター。キューバ国際音楽フェスティバルに招待される実力派。様々なシーンで音楽・デザイン・動画の制作を行うマルチクリエーターとして活動。

津垣博通 Hiromichi Tsugaki

Keyboard

日本を代表するキーボード奏者。松岡直也グループに参加。以降93 年まで、ジャズフェスやツアー、アルバムなどで活躍。正統派からアバンギャルドなシンセワークまで、アプローチの引き出しの多さと多彩さは他の追随を許さない。

小泉哲夫 Tetsuo Koizumi

Bass

日本では数少ない本格派サルサ、キューバ音楽系ラテンベーシストとして、Palma Habanera, SON 四郎をはじめ、様々なバンドやライブで活動。小野リサ、ブレッドアンドバター、ドデカコルドンなど様々なアーティストと共演するなど、ツアーやセッション、レコーディングで活躍中。

加納樹麻 Juasa Kanoh

Drums

L.A. を中心に 幅広くセッションを重ね、シャノンマクナリー、デイルフィールダー、ラファエルモレイラ、レッドヤング などのグループに参加。2000 年に帰国後、田中武久トリオへの参加より日本での活動を始め、ピンクボンゴ、高橋ゲタ夫 クリスタルジャズラティーノ などのグループに参加。多様なスタイルのセッション、ライブ、レコーディングで手腕を発揮している。

吉羽一星 Issei Yoshiba

Timbales

キューバへ2年留学、国宝級パーカショニスト・チャンギート氏に師事。ラテンだけにとどまらず、STUDIO APARTMENTS、Blue Man Group に 参 加。Def Tech "Catch The Wave"~Heroes~、double などのライブ やレコーディングに参加するなど、活動は多岐に渡る。

関 弘太 Kouta Seki

Bata Drum/Congas
Small Percussions

昭和音大打楽器科卒業後、キューバ・セネガルへ留学。各地で演奏し現地のリズムに深く親しむ。2015 年キューバ国内で開催された太鼓コンクール 3 本バタ部門で外国人として初優勝。アフロキューバンミュージックを軸に様々な現場で活動中。

SARAVAH 東京 にて 360 度円形ステージライブ

2018

2019

SARAVAH 東京 にて 360 度円形ステージライブ

アフロキューバンダンサー
アクロヨガとのコラボレーション

2020

ON AIR 大久保スタジオ にて スタジオライブ

SOUND AND IMAGE

◆スタジオライブ 2020｜ダイジェスト動画　https://youtu.be/KnruoJjvYNk
◆シアターライブ 2021｜ダイジェスト動画　https://youtu.be/cU0MQ7p1fOM
◆音楽評論家、佐藤英輔氏によるライブレポート
https://43142.diarynote.jp/202102130031572793/

DDD青山クロスシアターにて エアロビクス・ラテン・ストリートの
ダンスプレゼンターとのコラボライブ

2021

DDD青山クロスシアターにて 有観客シアターライブ2021

月見ル君想フ にて “ROOTS OF AFRO URBANITY”

渋谷 JZ Brat にて弦楽四重奏を迎えた リリース発売記念ライブ

2022

吉祥寺 曼荼羅 にて “ELECTRIC NIGHT”

南青山マンダラにて “マンダラ横丁セッション”

El Callejon de MANDALA

■ ゲストミュージシャン

IZPON (Perc/Programing/Vo)　マドコロナオヤ（Perc）

斎藤タカヤ（Piano/Keyboard）

2023

ROOTS OF AFRO URBANITY vol.2 ~dance to the music~

■ ゲストパフォーマー

Balodia Rodriguez (Dance)　IZPON (Perc/Programing/Vo)　マドコロナオヤ（Perc）斎藤タカヤ（Piano/Keyboard）

石川智久 (トロンボーン)　石井裕太 (サックス)　高瀬洸音（トランペット）

◆ダイジェスト動画　https://youtu.be/1sYyZoQTPDU?si=_jvpgaWMEZD0v0lx

東京歴史文化財団 アーツカウンシル東京 [東京芸術文化創造発信助成] 採択事業